左：無限静寂（宵の明星－信）1977年 世田谷美術館蔵　中：無限静寂（深夜の星－望）1977年 世田谷美術館蔵　右：無限静寂（暁の星－愛）1977年 世田谷美術館蔵

生誕110年

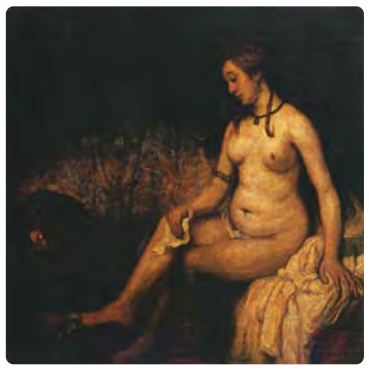
小堀四郎展｜美の生命の永遠　2012年7月28日［土］－8月27日［月］　茅野市美術館

開館時間＝10:00－18:00（7月28日は10:30から開展式を開催し、終了後に開場）　休館日＝毎週火曜日　観覧料＝一般500円（300円）、高校生以下無料　※（　）内は20名以上の団体料金　※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料

主催＝茅野市美術館　　助成＝財団法人自治総合センター、公益財団法人三菱ＵＦＪ信託地域文化財団、公益財団法人野村財団　　協力＝豊田市美術館、世田谷美術館
後援＝長野県、長野県教育委員会、茅野市、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、原村教育委員会、諏訪教育会、信州美術会、諏訪美術会、茅野市美術協会、岡谷市美術会、
諏訪市美術会、下諏訪美術会、富士見町美術会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ（7紙）、SBC信越放送、エルシーブイ株式会社、月刊ぷらざ、JR東日本 長野支社、諏訪地方観光連盟、信州諏訪農業協同組合

あなたに夢を。街に元気を。
諏訪
クーちゃん

1


2

3

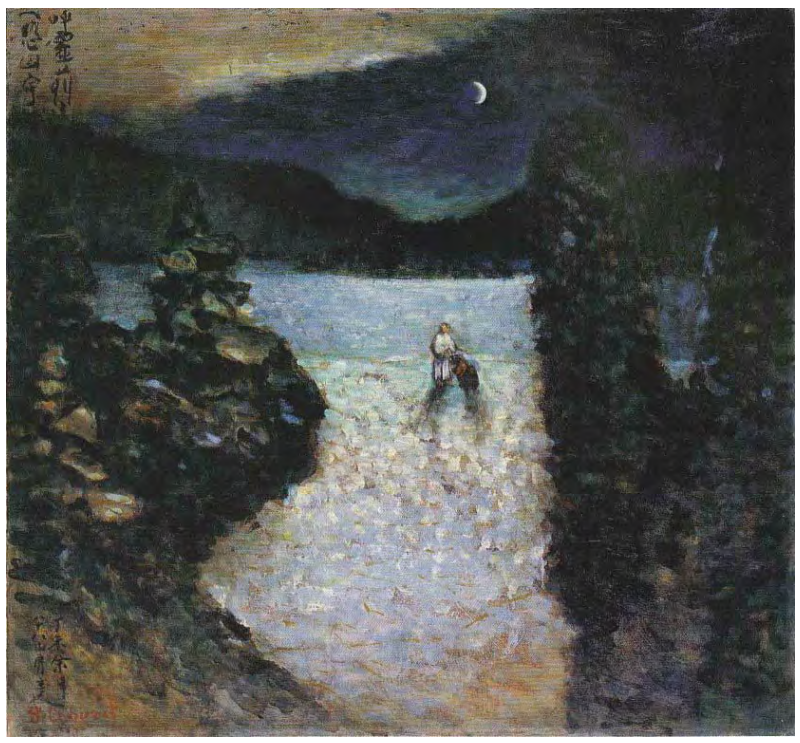
4

5

6

7

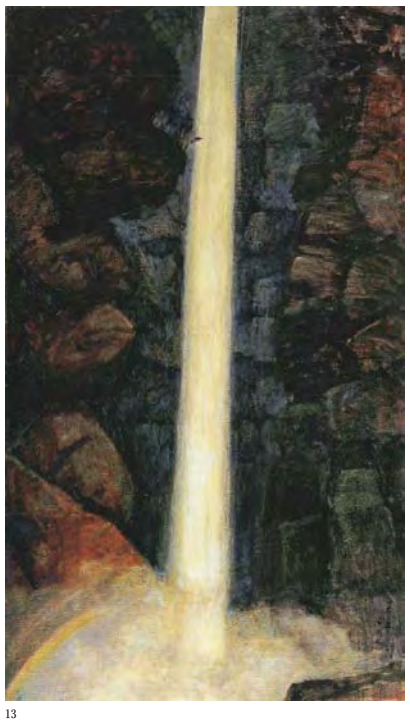
8


9

10

11

12


13

1.「影」1927年 個人蔵　2.「レンブラント作《ベッサベ・オー・バン》の模写」1930年 豊田市美術館蔵　3.「ラバン・アヂール」1932年 世田谷美術館蔵　4.「赤衣の女」1932年 豊田市美術館蔵
5.「親湯温泉への道」1946年 茅野市美術館蔵　6.「冬の花束」1946年 豊田市美術館蔵　7.「諏訪湖の夏花火」1952年 世田谷美術館蔵　8.「星と雲」1955年 豊田市美術館蔵
9.「宇曽利湖の懺悔（恐山）」1967年 世田谷美術館蔵　10.「赫光」1969年 豊田市美術館蔵　11.「人生とは」1982年 豊田市美術館蔵　12.「生命の神秘（千年の藤）」1986年 豊田市美術館蔵
13.「滝・動中静（命の振源）」1991年 豊田市美術館蔵

生誕 110 年

小堀四郎展｜美の生命の永遠

地域にゆかりの深い作家を紹介してきた茅野市美術館では、画家・小堀四郎（1902-1998）の生誕110年を記念した展覧会を開催します。小堀四郎は、1902年、愛知県名古屋市に漢学者・小堀休忠の四男として生まれました。愛知県立第一中学校（現愛知県立旭丘高等学校）在学中に油彩を知った小堀は、生涯芸術の道に進むことを決意し、父より東京美術学校（現東京芸術大学）への進学の許しを得ます。上京後、藤島武二に師事し、1922年に同校へ入学。同期には猪熊弦一郎、牛島憲之、荻須高徳、小磯良平、山口長男ら、のちの日本洋画壇を担う実力者が揃っていました。卒業後、1928年よりフランスに留学。ルーヴル美術館での精力的な模写に加え、ヨーロッパの主要都市を巡り、多くの美術作品に触れるなど、研鑽の日々を過ごし、1933年に帰国しました。翌年、藤島武二の媒酌で森鷗外の次女・杏奴と結婚。杏奴は、生涯、最大の理解者として画業に専念する小堀を支えました。1935年、帝展改組による画壇の混乱の中、様々な団体から誘いを受けた小堀は、師である藤島から、「君が真に芸術の道を志すならば、出来得ればどこにも関係するな。芸術は人なり」「俗世に求めている間は人間は出来るものではない」との助言を受け、生涯画壇に属さず、画商との交渉もせず、出品を東京美術学校同期生による「上杜会」のみとし、自身の信じた芸術の道を歩み続けます。

本展では、初期から渡欧時代の作品、家族で疎開した茅野市・蓼科に戦後10年間一人残り、蓼科の美しく雄大な自然を感受し生みだされた作品、北陸と東北での民間信仰や風習の取材から生まれた作品、さらにイラクとイランへの旅以降に制作され、自然や生命の神秘を描いた作品まで、約115点を展示します。厳選された作品群を通して、画家・小堀四郎の画業を回顧するとともに、時を越え静かにたたずむ美をみつめます。

小堀四郎　写真提供：世田谷美術館

茅野市美術館 地域をみつめるプロジェクト《対話》
生誕110年 小堀四郎展｜美の生命の永遠　関連イベント

美術を語る「小堀四郎」

ゲスト＝武内雷龍（歌人・前日本女子大学講師）、柳澤徳一（小津安二郎記念館 無藝荘 火代番）
小堀四郎と親交のあったゲストを招き、参加者とともに「小堀四郎」について語ります。
日時＝7月29日［日］14:00開始　会場＝茅野市民館アトリエ　参加費＝無料

美術教室「地域の美をみつめる」

講師＝篠原昭登（洋画家・一水会常任委員・日展会員）
講師の案内の後、参加者それぞれが地域の美を探して描きます。描いた絵は展覧会の会期中、茅野市民館ロビー、スロープに展示します。
日時＝8月1日［水］9:30-12:30（天候により中止の場合は、8月2日［木］に延期）
会場＝諏訪大社上社前宮 ※現地集合・解散
参加費＝1人200円　定員＝先着30名（要事前申込み）
対象＝小学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）

美術教室「もう一度みつめる家族、友人」

講師＝藤森民雄（彫刻家・新制作協会会員・横浜国立大学教授）
講師の指導のもと、鉛筆で家族、友人を描きます。描いた絵は展覧会の会期中、茅野市民館ロビー、スロープに展示します。
日時＝8月5日［日］13:30-17:00　会場＝茅野市民館アトリエ
参加費＝1人200円　定員＝先着10組（要事前申込み）
対象＝家族、友人（小学5年生以上）

きてみて！ギャラリーツアー

ガイド＝茅野市美術館サポーター、学芸員
キーワードは「よく見て、感じて、考えて、話して、聞く」。ガイドと一緒に話しながら、楽しく作品を鑑賞しましょう。
日時＝8月4日［土］11:00開始　8月26日［日］14:00開始　会場＝茅野市美術館
参加費＝無料（要展覧会チケット）

きてみて！親子ギャラリーツアー

ガイド＝茅野市美術館サポーター、学芸員
親子を対象としたギャラリーツアーです。ガイドと一緒に話しながら、楽しく作品を鑑賞しましょう。
日時＝8月11日［土］14:00開始　8月19日［日］11:00開始　会場＝茅野市美術館
参加費＝無料（対象は小中学生とその保護者。保護者の方は1名無料。会場入口に5分前に集合。）

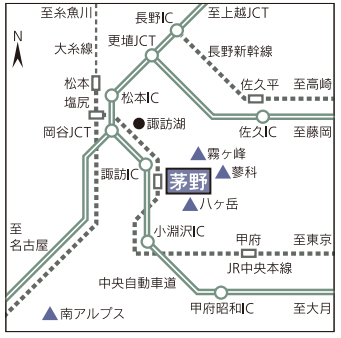
学芸員による作品解説会

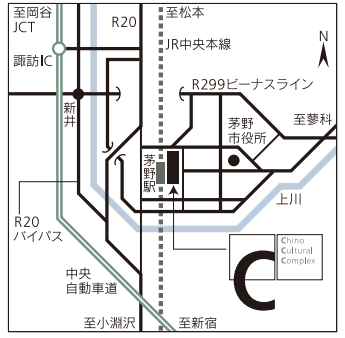
日時＝8月12日［日］11:00開始　8月18日［土］14:00開始　会場＝茅野市美術館
参加費＝無料（要展覧会チケット）

「思い出を描こう」作品募集

募集期間＝7月28日［土］－8月27日［月］
心に残っている思い出を描いてみよう。小堀四郎展に来場した子ども（中学生以下）を対象に用紙を配布します。子どもたちが描いた思い出の絵は展覧会の会期中、茅野市民館ロビー、スロープに展示します。

蓼科（月明かり）1962年 茅野市美術館蔵





■JR中央本線・茅野駅下車、東口直結　■中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

茅野市美術館

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 茅野市民館内
TEL.0266-82-8222　http://www.chinoshiminkan.jp/

もっとつながる、
もっとひろがる。

Chino City
Museum
of Art